

平成30年度一般会計予算額

46億2,812万円

平成30年度の一般会計の総額は46億2,812万円で、前年度と比較して5億5,966万円(13.8%)増額となりました。主な要因として、街なみ環境整備事業費の増(2億1,900万円)、紀勢避難道路等整備事業費の増(7,900万円)、新規事業として都市再生整備計画事業費(1億3,000万円)、物産販売・飲食施設整備事業費(2,963万円)など普通建設事業費で4億4,218万円の増額となっています。また自立支援給付費の増(1,549万円)、児童保育委託料の増(1,148万円)など扶助費で3,944万円の増額などが挙げられます。

歳入

町が独自で調達できる財源を自主財源といい、対前年度8,416万円(8.1%)の増額となっています。

主な要因として、最も主要な財源のひとつである町税収入は、対前年度52.1万円(0.7%)の増額、ふるさと納税の増加により寄附金が対前年度5,260万円(77.8%)の増額となっています。

また、繰入金是对前年度782万円(△11.9%)の減額となっています。地方交付税や国県支出金などの依存財源も、対前年度4億7,550万円(15.7%)の増額となっています。普通建設事業費の増加に伴い、国県支出金及び町債の増加が要因となっています。

歳出

平成30年度の当初予算は、「稲むらの火のまち総合戦略」を実現するため、6つの重点項目を柱として編成しています。重点項目ごとの主な事業を新規事業を中心に、次に紹介します。

- ① 東南海・南海地震津波対策
・紀勢避難道路等整備事業 (9,900万円)
・名島地区避難施設新築事業 (3億3,209万円)

- ② 上水道をはじめとするライフラインの充実
・簡易水道統合事業(簡易上水道特別会計 6億5,400万円)

- ・猪谷配水管布設事業(簡易上水道特別会計 1,000万円)
- ③ 地域内生活道路の整備
・社会資本整備総合交付金事業 (1億5,150万円) 町道岩淵線道路改良、交通安全施設(グリーンベルト)整備及び橋梁長寿命化事業
・狭あい道路整備等促進事業 (7,650万円) 町道南広東1号線の道路改良事業

- ⑥ 子育て支援や高齢化対策
・乳幼児医療及び子ども医療扶助費(2,506万円) 助成対象を拡充。
・福祉タクシー委託料 (148万円) 満70歳以上で、運転免許証を返納した者を対象に追加。
・新生児聴力検査費助成事業補助金(20万円)

- ④ 歴史的風致を活かした歴史まちづくり事業
・街なみ環境整備事業 (2億3,800万円) 稲むらの火の館周辺の整備。
・都市再生整備計画事業 (1億3,000万円) 町道日東・八幡線歩道整備及び観光・地域交流センターの整備。
・物産販売・飲食施設整備事業 (2,963万円)
・広村堤防追加指定土地購入事業 (660万円)
- ⑤ 地場産業である農林水産業の振興
・大谷農作業道改修事業 (5,100万円)
・北山水路改修事業 (2,600万円)

平成30年度当初予算の総額(単位:万円、%)

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率
一般会計	46億2,812	40億6,846	5億5,966	13.8
学校給食	8,333	8,282	51	0.6
町営浴場運営事業	1,250	1,154	96	8.3
国民健康保険	10億9,425	13億5,389	▲2億5,964	▲19.2
後期高齢者医療	1億5,712	1億5,616	96	0.6
介護保険	7億9,912	8億1,132	▲1,220	▲1.5
簡易上水道	8億1,729	4億3,851	3億7,878	86.4
下水道	1,712	2,580	▲868	▲33.6
土地取得	1億3,200	1億3,200	0	0.0
小計	31億1,273	30億1,204	1億0,069	3.3
合計	77億4,085	70億8,050	6億6,035	9.3

町民一人当たりに使われる予算は
644,047円

